



2020年 3月19日

山崎製パンが運営するコンビニエンスストア「デイリーヤマザキ」等でスマホでの バーコード決済の取扱いサービスを追加、QUOカードの取扱いも開始

山崎製パン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 飯島延浩）は、コンビニエンス事業において、お客さまに対する更なる決済サービスの向上を図るべく、当社が運営するコンビニエンスストア「デイリーヤマザキ」「ニューヤマザキデイリーストア」「ヤマザキデイリーストア」の店舗にて3月23日（月）よりLINE Pay株式会社が提供する決済サービスの「LINE Pay」、株式会社メルカリが提供する決済サービスの「メルペイ」（iDは導入済）の取扱いを開始いたします。また、4月1日（水）より株式会社クオカードが発行するプリペイドカード「QUOカード」の利用が可能となります。

現在、デイリーヤマザキ等の店舗でご利用いただける決済手段には、現金、クレジットカード、電子マネー、デビットカード、ポイント払い（楽天ポイント）、バーコード決済（PayPay、楽天ペイ）があります。この度導入する「LINE Pay」、「メルペイ」によりまして、更にスマホを利用した決済が便利になります。また、賞品や記念品、株主優待等で利用されるプリペイドカードのQUOカードも商品代金の支払いに充当することが出来るようになります。

今後も、当社ではお客様のお買いものが便利になるようにサービス向上に取り組んでまいります。

- 対象店舗：「デイリーヤマザキ」、「ニューヤマザキデイリーストア」、「ヤマザキデイリーストア」

※ご参考

【山崎製パン株式会社について】

山崎製パングループは、パン、和菓子、洋菓子をはじめビスケット、キャンディー、チョコレートなど製菓類や、米飯、調理パン、麺類など高品質でバラエティー豊かな製品群を製造しています。また販売面では、量販店やコンビニエンスストア、ドラッグストア等を通して広く全国の消費者に製品を提供するとともに、自社業態店としてコンビニエンスストアチェーンの「デイリーヤマザキ」や冷凍生地を活用したベーカリーカフェチェーンの「ヴィ・ド・フランス」などを展開しています。

【LINE Payについて】

毎月約8,300万人（2019年12月末時点）が利用するコミュニケーションアプリであるLINEから利用できる決済サービスです。LINEユーザーなら、規約に同意するだけで、LINE Payが使えるようになり、銀行口座連携やコンビニ等で残高をチャージしておけば、コンビニ・ドラッグストア・飲食店といった様々な業態の店舗で、お財布なしでお支払いが可能です。また本人確認を行えば、LINEの友だち同士での送金や割り勘機能といった非常に便利なサービスが利用可能になる他、「LINE家計簿」や店舗のポイントカードをまとめられる「マイカード」等の機能も備えるスマホのおサイフサービスです。

【メルペイについて】

「メルペイ」は、フリマアプリ「メルカリ」で利用できるスマホ決済サービスです。「メルカリ」の売上金※1の他、普段利用している銀行を登録し「メルペイ」に残高をチャージしたり、チャージレスな「メルペイスマート払い」を利用することで、スマートフォンを使ってお店や「メルカリ」でお買い物が可能です。非接触決済サービス「iD」※2、コード決済のいずれも対応しており、コンビニエンスストアやレストラン、ドラッグストア、ファストフード店をはじめ、全国のお店で利用することが可能です。

※1：売上金をご利用いただくには、所定の設定又はポイント購入をしていただく必要があります。

※2：「iD」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

【QUOカードについて】

コンビニエンスストアやドラッグストア、書店、カフェなど全国の身近なお店で利用できるプリペイドカード「QUOカード」の発行会社です。

「QUOカード」は単なる自己利用の決済ではなく、ギフトや販促品として、個人や多くの企業に挨拶品や株主優待、キャンペーン等で30年以上利用され続けています。発行額が現在も右肩上がりです。2018年度は年間約5,000万枚の発行となりました。

2019年3月には、スマートフォンが広く普及しデジタル化されたライフスタイルへと移行していく中、お客様の要望に応えるべくスマホ決済型デジタルギフト「QUOカード Pay」のサービスを開始しました。サービス開始直後から、大手の飲料メーカーや自動車メーカー、通信キャリア、ゲーム会社等のキャンペーン商材としても多数採用されています。

クオカードは新たなサービスの提供により利用シーンの拡充と利便性を向上させ、お客様の多種多様なギフト需要に対応していきます。

以 上